

令和元年度業務報告書

(公益財団法人：平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

1 概要

最近の暴力団情勢は、組織実態や活動形態の不透明化が進む中、依然として六代目山口組の分裂による抗争状態が継続しており、極めて不安定で予断を許さない状況が続いている。加えて、六代目山口組若頭の出所を契機に六代目山口組が一層強固な体制を築く目的で、幹部組員が傘下組織の引締めを図るとともに、神戸山口組構成員等の切り崩しを活発化させたほか、両組織の離脱及び鞍替えに伴う構成員への襲撃や対立抗争の激化等により、本年1月には両組織が「特定抗争指定暴力団」に指定された。

また、暴力団は、その組織実態を隠蔽しながら、建設業、金融・証券市場等へ進出して企業活動を偽装した資金獲得活動を活発化させているほか、大きな社会問題となっている「特殊詐欺」では、主犯の検挙人員の約半数が暴力団構成員等であるなど、主導的な立場で深く関与していることが鮮明になっている。こうした暴力団による社会経済情勢に応じた多種多様な資金獲得活動は、今後もますます悪質化・巧妙化・潜在化が進むと考えられる。

県内の暴力団情勢にあっても全国的な情勢と同様に、これまで神戸山口組や任侠山口組の傘下であった組織が、六代目山口組に鞍替えするなど組織の構成が流動化しており、これが引き金となり対立抗争事件や更なる勢力争いが予想される。

当センターでは、こうした暴力団情勢を踏まえ、暴力団組織内が不安定なこの時こそ社会から暴力団を排除する絶好の機会であると捉え、「社会対暴力団」の対決構図をより強固なものとするため、奈良県暴力団排除条例に定めた暴力団排除の基本理念（「暴力団を利用しない」、「暴力団を恐れない」、「暴力団に金を出さない」及び「暴力団と交際しない」の「暴力団追放3ない運動+1（プラスワン）」）及び暴力団排除活動の重要性を積極的に啓発している。また、令和元年度は暴力団のいない「日本一安全で安心して暮らせる奈良の実現」のため、県警察をはじめ行政機関、地域及び職域の関係団体と連携を強化し、暴力団追放のための広報啓発活動、地域経済団体等の暴力団排除組織に対する支援活動、暴力追放相談活動等を積極的に推進し、更なる暴力団排除気運の高揚を図るための事業を実施した。

2 実施内容

(1) 広報啓発事業

事業名	実施内容	備考
1 暴力団・銃器追放奈良県民大会	名称：第28回暴力団・銃器追放奈良県民大会 日時：令和元年8月30日（金曜日） 場所：田原本青垣生涯学習センター 「弥生の里ホール」 内容：奈良県警察音楽隊によるウェルカムコンサートをはじめ、表彰式典、(株)良心	参加者：約600名

塾代表取締役黒川洋司氏による「誰もが
 明るい未来にむかって歩める加害者も被
 害者も増えない社会を」と題した講演等
 を行った。

2 広報啓発活動

以下の広報啓発資料を作成・配布し、当セ
 ンターの活動内容を広く紹介するとともに、
 県民に対する暴力団排除気運の高揚に努めた。

○ 広報啓発資料等

資 料 名	部 数
暴追だより「奈良」	700部
暴力団追放カレンダー	600部
民暴相談のしおり	500部
不当要求防止責任者教本	900冊
暴力団情勢と対策	1,000部
企業・行政対象暴力の現状と対策	1,000部
奈良県条例リーフレット	2,000部

ホームページによる情報発信

月刊誌等への広告掲載

3 表彰

暴力団排除活動に功労があった以下の団体
 及び個人を表彰し、県民の暴力団排除気運の
 高揚を図った。

○ 全国暴力追放功労者表彰（1名）

区分	受 賞 者
金章	松 本 匡 司（宇陀市）

○ 近畿ブロック暴力追放功労表彰
 （2団体・2名）

区分	受 賞 団 体 及 び 受 賞 者
団体	奈良県証券警察連絡協議会
	奈良市企業局
個人	高 田 知 彦（大和高田市）

	馬場智巖（豊中市）	
	○ 奈良県暴力追放功労表彰（4団体・6名）	
	区分	受賞団体及び受賞者
	団体	一般社団法人奈良県建設業協会
		一般社団法人大和郡山市観光協会
		橿原商工会議所
		KOMAカントリークラブ
	個人	山形省吾（奈良市）
		岩尾達良（生駒市）
		川口勝久（河合町）
		今村禎彦（天理市）
		吉崎明暢（橿原市）
		小椋勝彦（香芝市）
4 少年に対する暴力団の影響を排除する活動	少年指導委員及び少年補導委員に対する研修において、暴力団情勢について講演するとともに資料を配布するなど、情報提供を行った。	

(2) 地域・経済団体等に対する支援

事業名	実施内容	備考
1 不当要求防止責任者講習	県公安委員会から委託を受け、事業所責任者及び自治体担当者に対する「不当要求防止責任者講習」を39回（受講者：1,306名）実施した。	
2 地域及び職域の暴力団排除組織に対する支援	県下自治体や地域が組織する暴力団排除団体、職域の暴力団排除推進協議会等が開催した研修会、暴追大会等において、資料の提供、DVD等の貸出しのほか、要請に基づく講演等の支援活動を行った。	

(3) 暴力追放相談事業

事業名	実施内容	備考														
1 暴力追放相談事業	<p>暴力団からの被害や困りごと等に対する相談については、面談や電話、メールにより受け付けたほか、暴力追放相談委員（弁護士、保護司等）とともに、中南和地域の無料出張相談を実施（3回（4月・6月・11月））した。</p> <table border="1" data-bbox="512 696 1147 1167"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="512 696 1147 757">暴力相談受理件数 36件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 757 1026 817">類 型</td> <td data-bbox="1026 757 1147 817">件 数</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 817 1026 884">因縁をつけての金品要求行為に関するもの</td> <td data-bbox="1026 817 1147 884">0件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 884 1026 952">離脱・勧誘等の強要に関するもの</td> <td data-bbox="1026 884 1147 952">0件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 952 1026 1019">刑事事件等に関するもの</td> <td data-bbox="1026 952 1147 1019">0件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1019 1026 1086">暴力団対策法に関するもの</td> <td data-bbox="1026 1019 1147 1086">0件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1086 1026 1167">その他（反社会的勢力の認定に関する相談、照会等）</td> <td data-bbox="1026 1086 1147 1167">36件</td> </tr> </table>	暴力相談受理件数 36件		類 型	件 数	因縁をつけての金品要求行為に関するもの	0件	離脱・勧誘等の強要に関するもの	0件	刑事事件等に関するもの	0件	暴力団対策法に関するもの	0件	その他（反社会的勢力の認定に関する相談、照会等）	36件	
暴力相談受理件数 36件																
類 型	件 数															
因縁をつけての金品要求行為に関するもの	0件															
離脱・勧誘等の強要に関するもの	0件															
刑事事件等に関するもの	0件															
暴力団対策法に関するもの	0件															
その他（反社会的勢力の認定に関する相談、照会等）	36件															

(4) 救済更正促進事業

事業名	実施内容	備考
1 暴力団離脱者に対する支援活動	<p>奈良県暴力団離脱・社会復帰対策協議会会則第7条に規定する暴力団離脱者の就労支援の更なる推進を図るため、受入企業として新たに6社の企業を登録した。</p> <p>暴力団離脱者からの就労支援に関する相談及び就労支援による社会復帰対策の事業の実施はなかった。</p>	
2 被害者に対する見舞金支給、民事訴訟等の支援	<p>暴力団員による犯罪行為の被害者に対する見舞金の支給、暴力団員による不法行為に対する損害賠償請求訴訟等の民事訴訟に係る費用の貸付け、暴力団員による不法行為による建造物、物品等が損害を受けた場合の応急的</p>	

修復費用の貸付け等の事業の実施はなかった。